

--	--	--	--	--	--	--	--

- 注意 (1) 解を導きだす経過をできるだけ丁寧に記述すること。説明が不十分な場合は減点する。
 (2) 字が粗暴な解答も減点の対象とする。
 (3) 途中退席は認めない。試験時間終了まで十分見直しをすること。
 (4) 答案は1月8日に返却する。答案を受け取らずに放置している者は減点の対象とする。

点

1 次各問に答えなさい (説明は不要、解を答えるだけでよい)。 (各10点)

(3) 次の (ア) ~ (エ) の中から、直交行列をすべて選びなさい。

(ア) $\begin{pmatrix} 1 & 1 \\ 1 & -1 \end{pmatrix}$ (イ) $\begin{pmatrix} \frac{1}{\sqrt{2}} & -\frac{1}{\sqrt{2}} \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$ (ウ) $\begin{pmatrix} -\frac{1}{\sqrt{2}} & \frac{1}{\sqrt{2}} \\ \frac{1}{\sqrt{2}} & \frac{1}{\sqrt{2}} \end{pmatrix}$ (エ) $\begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$

$A \cdot {}^tA = E_2$

(3) **ウ、エ**

(2) 次の (ア) ~ (エ) の中から、空間内の点 (1, 2, -1) の同次座標表示をすべて選びなさい。

(ア) $(-2:4:2:-2)$ (イ) $(\frac{1}{2}:1:-\frac{1}{2}:\frac{1}{2})$ (ウ) $(2:4:-2:2)$ (エ) $(\frac{1}{2}:1:-\frac{1}{2}:-\frac{1}{2})$

\downarrow
(1, -2, 1)

\downarrow
(-1, -2, 1)

$\begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ 4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ 4 \end{pmatrix}$

(2) **イ、ウ**

(3) 次の (ア) ~ (エ) の中から、平行移動によって $2x - y + 4z = 3$ に移り得る平面をすべて選びなさい。

(ア) $2x - y - 4z = 2$ (イ) $x + \frac{y}{2} - 2z = 1$ (ウ) $-4x + 2y - 8z = 1$ (エ) $x - \frac{y}{2} + 2z = 2$

$\begin{pmatrix} 2 \\ -1 \\ -4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} 2 \\ 0 \\ -4 \end{pmatrix}$

$\begin{pmatrix} 1 \\ \frac{1}{2} \\ -2 \end{pmatrix}$

$\begin{pmatrix} -4 \\ 2 \\ -8 \end{pmatrix}$

$\begin{pmatrix} 1 \\ -\frac{1}{2} \end{pmatrix}$
又 $\frac{1}{2}$ " $\frac{1}{2}$ "

(3) **ウ、エ**

2 xyz -空間内の平面 $x - 2y - z = 6$ を π とする. 次の各問に答えなさい. (各 10 点)

(1) $\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \bar{x} \\ \bar{y} \\ \bar{z} \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} 0 \\ k \\ 0 \end{pmatrix}$ と座標変換したら, π の定義式が $\bar{x} - 2\bar{y} - \bar{z} = 0$ になったとする. このときの k の値を求めなさい.

π
 \Rightarrow π の式に代入して $(= x - z)$ になる k を求めればよい.

$k = \boxed{-3}$

(2) $\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} \bar{x} \\ \bar{y} \\ \bar{z} \end{pmatrix} + \begin{pmatrix} k \\ k \\ 1 \end{pmatrix}$ と座標変換したら, π の定義式が $\bar{x} - 2\bar{y} - \bar{z} = 6$ になったとする. このときの k の値を求めなさい.

\circ $\begin{pmatrix} 1 \\ -2 \\ -1 \end{pmatrix}$ と $\begin{pmatrix} k \\ k \\ 1 \end{pmatrix}$ が垂直である
 k の値を求めればよい

$k = \boxed{-1}$

(3) 行列 $P = \begin{pmatrix} \frac{1}{\sqrt{3}} & \frac{1}{\sqrt{2}} & \frac{1}{\sqrt{6}} \\ \frac{1}{\sqrt{3}} & 0 & -\frac{2}{\sqrt{6}} \\ -\frac{1}{\sqrt{3}} & \frac{1}{\sqrt{2}} & -\frac{1}{\sqrt{6}} \end{pmatrix}$ に対し, $\begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = P \begin{pmatrix} \bar{x} \\ \bar{y} \\ \bar{z} \end{pmatrix}$ と座標変換するとき, π を $\bar{x}\bar{y}\bar{z}$ -座標系の方程式で表しなさい.

$\bar{z} = \sqrt{6}$

$\bar{z} = \sqrt{6}$

--	--	--	--	--	--	--	--

3 視点が $S = (\frac{1}{4}, \frac{1}{4}, 5)$ で $z = 0$ 平面を投影面とする透視投影を φ とする. 空間内の点 $A_1 = (0, 1, 1)$, $A_2 = (-1, -1, 1)$, $A_3 = (1, -1, 1)$, $A_4 = (0, 0, 3)$ に対し, 次の各問に答えなさい.

(1) 点 A_1, A_2, A_3, A_4 を透視投影 φ で移した点をそれぞれ B_1, B_2, B_3, B_4 とする. B_1, B_2, B_3, B_4 を求め, 直交座標で表しなさい. (各 8 点)

122

$$-\frac{21}{16} = -1 + \frac{5}{16}$$

$$= -1 - \frac{4}{16} - \frac{1}{16}$$

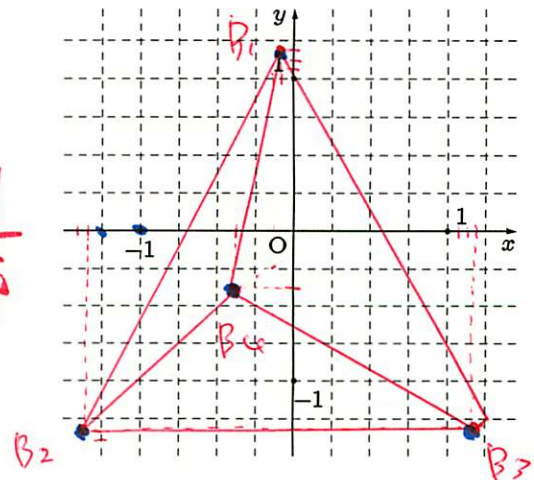
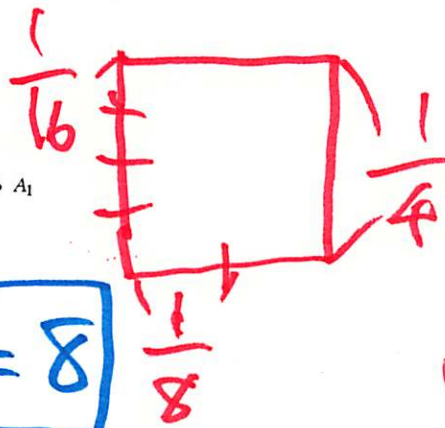
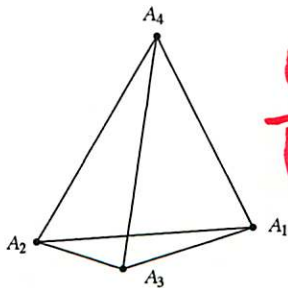
$$B_1 = \left(-\frac{1}{16}, \frac{19}{16}, 0 \right)$$

$$B_3 = \left(\frac{19}{16}, -\frac{21}{16}, 0 \right)$$

$$B_2 = \left(-\frac{21}{16}, -\frac{21}{16}, 0 \right)$$

$$B_4 = \left(-\frac{3}{8}, -\frac{3}{8}, 0 \right)$$

(2) 三角錐 $A_4 - A_1A_2A_3$ (左下図参照) を φ で投影した図 (ワイヤーフレーム) を右下の xy -平面 (平面 $z = 0$) に描きなさい (1 目盛りは $\frac{1}{4} = 0.25$). (8 点)



$$4 + 1 \times 4 = 8$$